

日本を支える
見えないけれど、
とても大切な仕事

経済産業省のお仕事の秘密

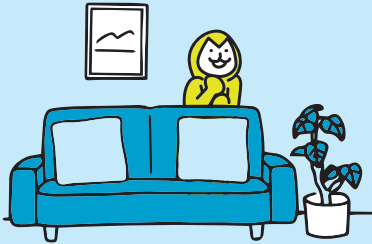


はじめに

経済産業省って、
何をしているところだろう。
「経済」や「産業」と聞くと、
何を思い浮かべますか？



モノを作る会社や、
お店での買いものを
思い浮かべるかもしれません。

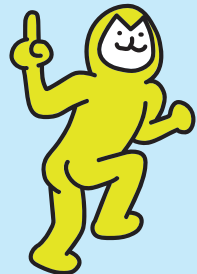


実は、経済産業省の仕事は、
そうした「経済」や「産業」の
活動の見えないところにあります。

ふだんは気づきにくいけれど、
私たちのくらしが安心して
続いていくように、
見えないけれど とても大切な仕事で、
日本を支えています。

それってどんな仕事か気になりませんか？

この本では、みなさんの身近なくらしのなかに
こっそり隠れている経済産業省の仕事を、
わかりやすく紹介していきます。



もくじ

はじめに	P02
もくじ	P03
毎日の「あたりまえ」がなかったら?	P04
電気やガスを、安心して使えるようにする	P06
安全・安心な暮らしを支える	P07
新しいモノやサービスで、暮らしを便利にする	P08
お店や会社を元気にする	P09
おわりに	P10

ミエティ MiETIプロフィール



名前

MiETI (ミエティ)

特徴

顔のかたちが「M」。ネコではない。
本気スイッチがはいると、ヘソにナゾの
マークが浮かび上がる。

性格

目立たないつもりで立っている。
でもちょっと目立つ。。

好きなもの

いろんなスイッチ。だいたい押してみる。

特技

押して欲しそうな背中を見つけること。
そっと押しちゃう。

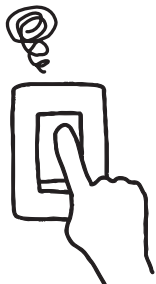
ミエティのひみつ、
この本のどこかに
かくれてるかも!?



毎日の「あたりまえ」



電気やガスがあたりまえになかったら？



- ④ 夜なのに電気がつかない
- ④ 寒い日に暖房がつかない
- ④ お店や工場が動かさない

電気やガスは、
くらしだけでなく、社会全体を支える大事な力です。

他に、どんな困ったことがあるだろう？ お友だちと考えてみよう！

MEMO



安全な製品がお店に並ばなかったら？

- ④ 家電やおもちゃで、ケガをする
- ④ 同じ事故が、何度もおきる
- ④ 安心して使えるか、自分で判断しなければならない



安全であることは、
気づかないほど当たり前だからこそ、とても大切です。

他に、どんな困ったことがあるだろう？ お友だちと考えてみよう！

MEMO

がもしなかったら？



新しいアイデアや技術が育たなかったら？



- ④ 便利なモノがなかなか生まれない
- ④ 新しいサービスが広がりにくい
- ④ アイデアや技術をもった会社が世界で活躍しにくくなる

未来のくらしの便利さは、
自然に生まれるものではありません。

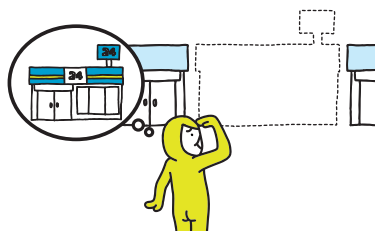
他に、どんな困ったことがあるだろう？ お友だちと考えてみよう！

MEMO



お店や会社が元気に続いていかなかったら？

- ④ お父さんやお母さんの働ける場所が減ってしまう
- ④ お店の選択肢が減ってしまう
- ④ 地域の元気がなくなってしまう



お店や会社は、みんなのくらしの便利さと
日本の元気を支える大切な存在です。

他に、どんな困ったことがあるだろう？ お友だちと考えてみよう！

MEMO



そんな毎日の「あたりまえ」を支えている経済産業省のお仕事をみてみよう！



電気やガスを、安心して使えるようにする

暗くなると、電気がつく。
お風呂でお湯が出る。
夏に涼しい部屋で過ごせる。



こんな「いつもの毎日」は、実はたくさんの人の準備と工夫で守られています。

経済産業省は、電気やガスなどのエネルギーが安全に、安定して、みんなにちゃんと届くように、しくみやルールなどを整える仕事をしています。

経済産業省は何をしている？

経済産業省は、電力会社やガス会社と協力して、

- 電気やガスが足りなくならないかチェックする
- 事故が起きないように、安全のルールをつくる
- 再生可能エネルギーを広げる
- 省エネや節電を後押しする
- 石油や天然ガスを海外から安定的に輸入する



といったことをしています。

電気やガスをつかって届けるのではなく、災害が起きたときにもできるだけ早く元に戻せるよう備えながら、エネルギーを安心して使える社会を、みんなの見えないところで支えています。

これからは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー、電気自動車や新しい電池など、電気やガスなどエネルギーの作り方も使い方もどんどん変わっていきます。

経済産業省は

みんなが安心してエネルギーを使える未来をつくっていきます。



安全・安心なくらしを支える

毎日使っている家電やおもちゃ、
スマホや自転車。
それらが「安全につくられていること」



それらは当たり前ですが、とても大切なことです。

経済産業省は、みんなが身の回りの色々な製品を安心して使えるように、安全を守るしくみやルールなどを考え、整える仕事をしています。

経済産業省は何をしている？

経済産業省は、製品をつくる会社や専門家と協力して、

- ① 安全な製品をつくるためのルールを決める
- ② 製品の正しい使い方をみんなに伝える
- ③ 事故が起きたら、その原因を調べて再発を防ぐ
- ④ 安全な製品にお墨付きをあげる
- ⑤ 危険な製品があれば、知らせたり回収を進めたりする



といったことをしています。

安全であることは、気づかないほど当たり前だからこそ、とても大切です。

一つ一つの製品を作るのではなく、製品を安心して使える社会を、みんなの見えないところで支えています。

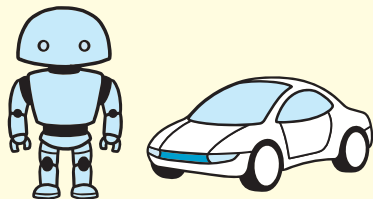
これからも新しい技術や製品はどんどん生まれます。だからこそ、安全を守るルールや制度には常に進化が必要です。

経済産業省は
みんなが安全に暮らせる未来をつくっていきます。



新しいモノやサービスで、暮らしを便利にする

ロボット、
次世代の車やエネルギー。



少し前まではなかった便利なモノやサービスが、今の暮らしを支えています。未来の暮らしの便利さは、自然に生まれるものではありません。経済産業省は、未来の暮らしが変わるかもしれない挑戦を、色々な面から長い目で支えて応援する仕事をしています。

経済産業省は何をしている？

経済産業省は、会社や大学などの研究者と協力して、

- 新しい研究や技術開発を応援する
- 新しいアイデアや技術を持った会社が挑戦しやすい環境を整える
- 新しいモノやサービスを社会で使うために、これまであるルールを変えたり、新しいルールを作ったりする



といったことをしています。

これからの日本には、新しいアイデアと技術がますます必要になります。

日本や世界が抱える社会の課題を解決するヒントも、こうした新しい挑戦の中から生まれます。アイデアや技術が、モノやサービスになるまでの道のりを、みんなの見えないところで支えています。

経済産業省は、
便利でワクワクするような未来をつくっていきます。



お店や会社を元気にする

まちのお店や工場、地元の会社。それぞれは小さく見えても、集まると日本の経済を支える大きな力になります。



身近なモノやサービスの多くは、こうした会社から生まれています。

経済産業省は、みんなが住む地域や日本が元気でいられるように、まちのお店や会社を支える仕事をしています。

経済産業省は何をしている？

経済産業省は、会社や地域の人たちと協力して、

- 会社の困りごとを解決するお手伝いをする
- 新しい事業に挑戦する会社を応援する
- 海外で稼ぐ挑戦をする会社を後押しする
- 地域が元気になるようしくみやルールを整える



といったことをしています。

もしも大きな災害や事故でみんなの地域が被害を受けたときには、働く場所やくらしの場を取り戻せるよう、電気やガスを確保したりして復興を支えます。

一つ一つのお店や会社が元気に頑張りが続けられる社会を、みんなの目に見えないところで支えています。

経済産業省は、みんなの住む地域や日本が元気で成長していく未来をつくっていきます。

おわりに

経済産業省の仕事は、
ふだんの生活の中では、あまり目に見えません。

電気やガスがあたりまえに使えること。
安全な製品が店にならぶこと。
新しい技術やサービスが生まれること。
お店や会社が元気に続いていくこと。

それらは、
「だれかが前に出て引っぱる仕事」だけではなく、
「しくみやルールを整えて支える仕事」
もあって成り立っています。

この本では、
そんな経済産業省の「見えにくい仕事」を、
みなさんにも伝える言葉に置きかえ、
くらしとのつながりが見えるように紹介してきました。

むずかしい制度や専門用語で覚えるのではなく、
「もし、これがなかったらどうなるんだろう？」
「自分の毎日と、どうつながっているのかな？」
読み終えたあとも、そんな問いから、
日々の生活をほんの少し新しく見つめてもらえたらうれしいです。

経済産業省の仕事のすべてを
ここで紹介できるわけではありません。
けれど、みなさんのくらしを支える大切な役割の一部は、
少しだけ、感じてもらったのではないのでしょうか。

この本が、日本を支える経済産業省の仕事、少し身近に、
少し自分ごとを感じるきっかけになればうれしいです。



MEMO

ミエティ MiETIって実は…

ミエティ
MiETIは、ふだんはあまり目立たない存在。
でも、日本のどこかでなにか変化が起きそうなとき、
そっとあらわれます。

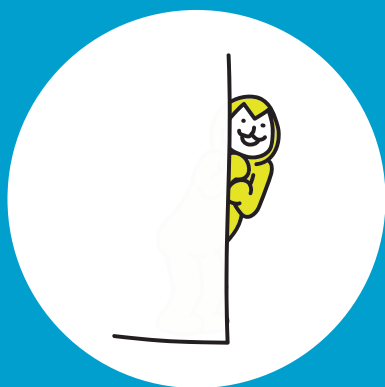
前に出るヒーローではなく、こっそりみんなを後ろから見守って、
あと一歩!の人の背中をそっと押すのがだいすき。

でも“ここぞ!”というとき、ミエティは自分の「本気スイッチ」を押すよ。
そして周りのみんなの心に火をつけていく。
ふだん目立たないミエティなのに、
本気モードになるとピカピカ光り出しちゃうから、
「あ、ミエティじゃん!」って
うっかり目立っちゃうんだけどね。

気づくのは、ほんの少し早め。
動くのは、ほんの少し先回り。
正体ははっきりしていません。

ただ、
「いなくなると困ってしまう」
そんな存在です。





経済産業省 キッズページも見てね!

<https://www.meti.go.jp/intro/kids>

